

まほらいな市民大学の様子

令和7年4月17日（木）

『 私のモロッコ体験談 』

講師 JICA海外協力隊員OG 南澤 敦子 氏



南澤 敦子さんは、JICA 海外協力隊員として 2012 年 9 月から 2 年間モロッコに村落開発普及員として派遣され、女性の自立支援や観光支援の活動をされました。

モロッコの民族衣装を見せてくれました。そして「これはなんでしょう？」と学生に問いかけながら日本とモロッコの生活様式の違いを話されました。宗教がイスラム教であり、毎日の礼拝や断食期間があること。男と女での服装や生活の仕方が大きく違うこと。貧困に苦しんでいる人々のことなど、南澤さんがモロッコで生活しながら、現地の言葉を苦労して覚え、家族のように一緒に生活された話がありました。「モロッコの人たちは、私のことを“アイシャ”と愛称で呼んでくれて、家族のようにやさしかった。からかってくる人から私を守ってくれた。けっして裕福ではないのに買ってきたものを分けてくれた。」「お別れ会の時の写真には、文化や生活の違いがあってもみんな笑顔で写っている。みんな同じです。みんな大好きです。」と心に響く言葉がありました。

学生からは「貴重な体験談を楽しくお聴きしました。普段の生活ではかなりご苦労されたと思います。モロッコの方々のあたたかさに触れた 2 年間。本当におつかれさまでした。」「国は開発途上国ですが、心はとても豊かな人たちで感動しました。言葉も話せず、知らない国に飛びこんでいくのはすごいこと。私も広い心を持って出来ることをやっていきたいと思います。」といった感想がありました。